

## 鳴子ダムが江合川下流の洪水を低減

- ・ 鳴子ダムでは、平成25年9月16日の台風18号による大雨に対し、江合川の流量を最大209m<sup>3</sup>/秒 低減しました。
- ・ 涌谷大橋付近で約1.4m水位を低下させ、江合川下流の水位低減及び被害軽減に効果を発揮しました。

### 1. 鳴子ダム流域の気象状況

- ・ 台風18号の北上に伴い、鳴子ダム流域では、9月15日の午後25mmの降雨があり、16日朝からは台風の接近に伴い強い雨域に覆われたことから、時間雨量10mmを超える降雨が続きました。
- ・ 鳴子ダム流域では、16日7時からの8時間で102mm、最大時間雨量22mmを記録するなど、2日間で累加雨量127mmの大雨となりました。

### 2. 鳴子ダムの防災操作の効果

- ・ 今回の洪水で、鳴子ダムではピークで208.9m<sup>3</sup>/秒の洪水をダムに貯め込んで下流の洪水を減らしました。(最大流入量は349.46m<sup>3</sup>/秒)
- ・ 鳴子ダムによる防災操作により、鳴子ダム下流の涌谷大橋付近(宮城県遠田郡涌谷町)で約1.4m水位を低下させ、「はん濫危険水位」超過を抑えることができたと推測されます。
- ・ 鳴子ダムでは、東京ドーム約3杯分(3,011千m<sup>3</sup>)の洪水をダムに貯め込み、東日本大震災による復旧工事中の江合川下流の水位低減及び被害軽減に効果を発揮しました。

### 3. 今回の洪水規模

洪水発生日	平成25年9月16日(台風18号)
最大時間雨量	22mm(9月16日14~15時(流域平均))
累加雨量	127mm(9月15~16日の2日間(流域平均))
ダム最大流入量	349.46m <sup>3</sup> /秒(9月16日17時00分)
ダム最大放流量	157.63m <sup>3</sup> /秒(9月16日17時50分)
最大調節量	208.9m <sup>3</sup> /秒 (349.46m <sup>3</sup> /秒 - 140.56m <sup>3</sup> /秒)
洪水貯留量	3,011千m <sup>3</sup> (ダムに貯めた量)

※数値は速報値

記者発表会：古川記者クラブ

問い合わせ先  
国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所

所長 松川 正彦

専門職 浅野 隆郎

〒989-6806 宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8

TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

# えあいがわ なるこ 北上川水系江合川 鳴子ダムの防災効果

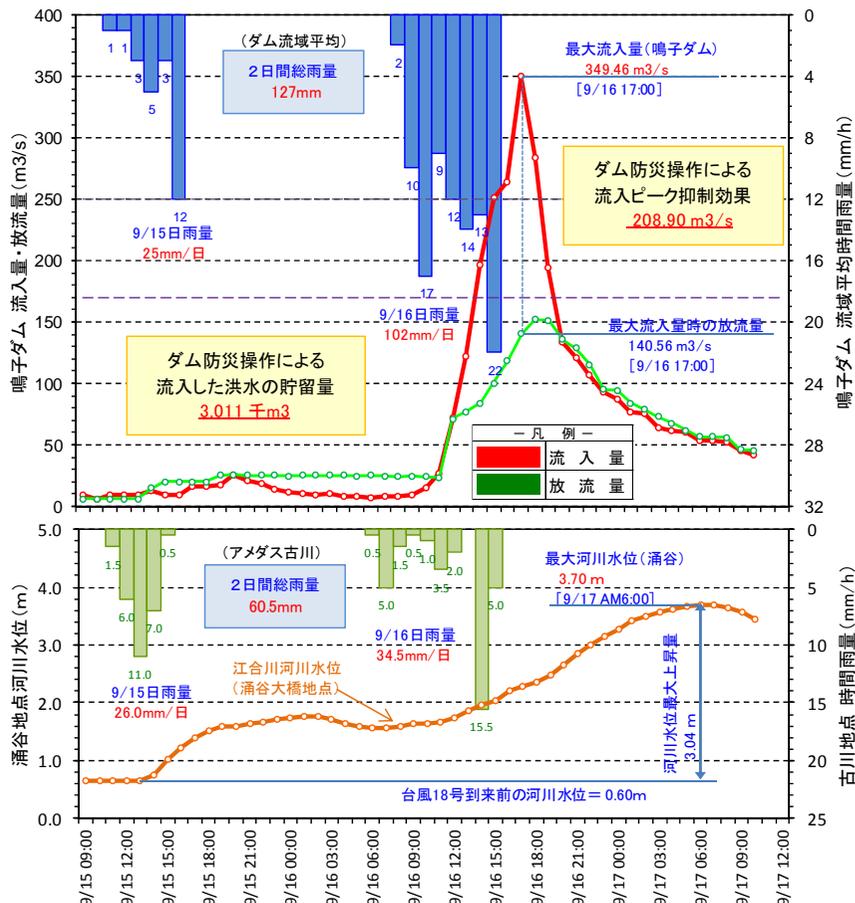
平成25年9月16日洪水  
(台風18号)

- 台風18号の通過に伴い、鳴子ダム流域では16日7時からの8時間で102mm(最大時間雨量22mm/h)の降雨を記録しました。
- 鳴子ダムの防災操作により、**ピークで約209m<sup>3</sup>/秒、合計で東京ドーム約3杯分の洪水(3,011千m<sup>3</sup>)をダムに貯め込みました。**
- これにより、東日本大震災による復旧工事中の江合川下流の水位低下及び被害軽減に効果を発揮しました。
- 鳴子ダムの下流に位置する涌谷大橋地点(宮城県遠田郡涌谷町)では、**河川水位を約1.4m低下させ、「はん濫危険水位」超過を抑えることができた**と推測されます。

※数値は速報値

## 【台風18号による鳴子ダム洪水体制発令状況】

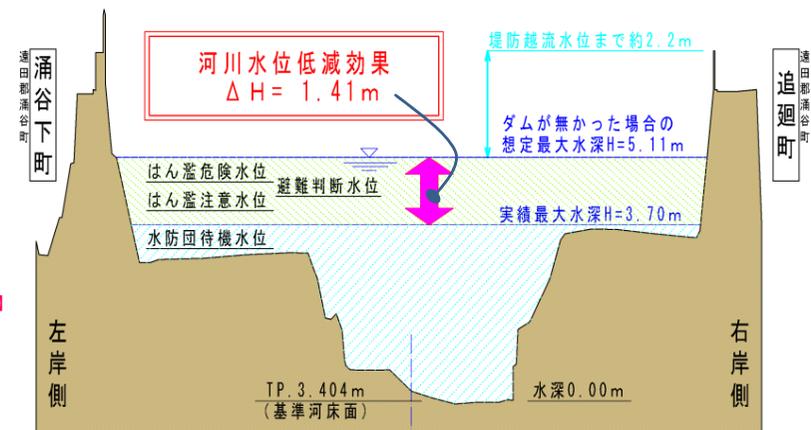
- 9/16 12:00 災害対策本部(注意体制)発令
- 〃 15:30 災害対策本部(警戒体制)発令
- 〃 18:30 災害対策本部(注意体制)に移行
- 9/17 14:30 災害対策本部(注意体制)解除 → 通常のダム管理体制



台風18号の通過経路図



涌谷大橋地点の位置



江合川断面図(涌谷大橋下流地点)

※涌谷大橋地点における河川水位上昇の抑制効果量 H=1.41mは、洪水流が新江合川で分流されなかった場合を想定し、最も危険な状況で算出している。